



# 令和元年度 林業成長産業化技術者育成 ブロック研修の概要

1. 研修日程: 令和元年11月26日～11月29日
2. 研修会場: 中小企業大学校 人吉校
3. 現地実習: 人吉市大畑国有林74ち林小班外
4. 参加者: 19名(内訳) 県職員 9名  
林業事業体職員 3名  
森林整備センター 2名  
国有林職員 2名

## 研修のポイント

プロダクトアウト(製造側からの提供)からマーケットイン(顧客のニーズの反映)へ思考を転換し、サプライチェーンまでを含めた構想を作成するため、演習地域の木材加工施設の規模・配置・物流状況なども踏まえた出口戦略の演習を行います。

地域特性に応じた森づくりの構想。  
講師は宮崎大学光田先生

## ブロック研修の目標

ブロック研修においては、ICT等の最新技術を活用し、効率的かつ効果的な路網の整備や、地域特性と森林資源状況を考慮した森林整備計画、資源活用計画等を作成します。この地域構想を各班で検討します。議論することにより技術力を養成し、成長産業化に資することとします。



路網設計支援ソフト(FRD)を活用した路網整備計画、森林整備、資源活用計画等の演習。



路網設計の基礎となる「森づくり構想」の現地演習

講師: 宮崎大学  
光田先生



FRDにより設計した路網計画の現地調査を行い、開設困難箇所を確認。



現地踏査を踏まえ、路網の修正や販売戦略を検討し、森林所有者に対してプレゼンを行う。

プレゼンテーション能力の向上を目指して検討内容をスライドにして各班毎に発表。

